

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100440
事業所名	グループホームしもかた翔裕館

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、施設長が組長の役を担っている。回覧板や掲示板で情報を得たり情報の発信をしたり、町内会長と交流したりして情報の収集に努めている。町内の会合や活動は再開しているが、現状参加を見送っている。しもかた翔裕館として開催された納涼祭には80名の親子の参加が得られている。併設するデイサービス主催のボランティアによるオペラや合唱、楽器の演奏会などの館内行事に参加し、地域の一員として交流を深めている。今後感染症の状況を確認しながら、散歩や町内の清掃、防災訓練、夏祭りなどの地域行事に参加する予定にしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議はコロナの状況に応じ書面開催4回、対面開催2回、入居者家族、地域の有識者、いきいき支援センター職員、事業所職員の参加を得て実施している。参加者には、運営状況や活動内容、ヒヤリハットや事故報告、地域への情報提供などを記載し、次回の出欠票や意見欄を設けた案内文書に返信用封筒を同封して送付している。頂いた意見は回答を加え開催報告書に明記し運営に反映させている。家族や町内の有識者には議事録を届けている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政担当窓口には介護保険更新の手続きや申請の代行などで出向いたり、必要に応じ連絡を取るようにしている。いきいき支援センターとは相談事やサービスの取り組みを伝えたりして情報交換をしながら協力関係を築いている。認知症カフェの開設を目指して相談などを行っている。また、認知症サポーター養成講座を地域に向けて開催している。市主催の研修の紹介があれば該当する職員を指名して参加するようにしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、申し送りノートに記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族からは面会の制限も緩和されているため直接意見や要望を聞くようにしている。また、毎月電話やメールで訪問診療の結果を知らせると同時に入居者の日々の様子も伝え、家族からの要望も聞くようにしている。聴取した意見や要望は、ケアや運営に反映させるよう努めている。また「しもかた通信」を発行し行事の様子や日常の入居者個人の様子を写真とコメントを添えて知らせ家族に安心感を届けている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【備考欄】

認知症カフェの開設を目指して計画を進めていたが、チラシやのぼりなども準備をしたり地域への周知活動もしながら、この3月にプレオープンの実現が出来た。地域からの参加はなかったが、グループホームしもかたと併設の介護付有料老人ホームの入居者の参加により、ほのぼのとした雰囲気の中での開催であった。今後、地域への周知活動をより一層図り、地域との繋がりを広げていく方向にある。2階の広いベランダを入居者が集う憩いのガーデンスペースとして、いつでも日向ぼっこや園芸などで外気浴ができるよう環境の充実を図り活用する機会を増やしていく計画や、近くの公園やコンビニでの買い物など気軽に外に出るきっかけ作りをしていく予定にある。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×	○	○	○							